

昭和初期のイギリス製女性用自転車 「ロイヤルエンフィールド」(1932年頃)



昭和初期の日本では自転車を利用する女性は一部の人に限られていましたが、欧米ではノーベル賞を受賞したキューリー夫人が週末にサイクリングを楽しむなど、女性も積極的に自転車を利用していました。このため軽くて乗り易い女性のための自転車が多数造られました。

このロイヤルエンフィールド自転車は当時のイギリスを代表する女性用で、ロングスカートをはいても乗ることができるように、後輪にスカートの巻き込みを防ぐための大きなネットが付けられています。またハンドル中央から前輪に伸びる部分が長いのも特徴の1つです。

サイクリングだけでなく、この自転車に乗って颯爽とテニスなどに出かけませんかというポスターが作られ、大変人気を博した自転車です。

自転車文化センター 谷田貝一男